

戦評用紙

大会名	第64回山形県高等学校総合体育大会バスケットボール競技
-----	-----------------------------

日時	2013年6月9日13:30～	区分	高体連
----	-----------------	----	-----

チームA				チームB
山形南				日本大学山形
76	21	1Q	14	57
	16	2Q	15	
	14	3Q	12	
	25	4Q	16	
		延長		

【戦評】

第1Q日大ボールでスタート。お互い激しいマンツーマンディフェンスの中で、開始3分#5村上のバスケットボールカウントが決まると徐々に流れが山南に傾き始める。しかし、日大も確率の良いミドルシュートを中心に得点を重ね21-14の山南リードで1Q終了。

第2Q開始1分、今度は日大#13岸のバスケットボールカウントで流れに乗ったかと思われたが、山南の粘り強いディフェンスやリバウンドで主導権を渡さない。逆にオールコートのトラップディフェンスを仕掛けると、スティールからの速攻が決まったところで前半終了。37-29で依然として山南がリード。

第3Qはお互い集中したディフェンスを見せ、3分間ノーゴールが続く。終盤、ミドルシュートやリバウンドからのゴール下が決まるも、点差は変わらず、51-41で最終クォーターを迎える。

勝負の第4Q、山南はより一層のプレッシャーディフェンスで日大に攻撃する余裕を与えない。それをよそに、山南は、#5、#15前田がミドルシュートを決め、突き放しにかかる。残り6分、日大のターンオーバーが続き、山南がいきなり8連続得点を決めたところで、たまたま日大がタイムアウトをとる。しかし、流れは変わらない。日大も最後まで、必死にボールを追いかけ粘りを見せるが、追いつくことは出来ずタイムアップ。

山形南がインターハイへの切符を手に入れた。

戦評者

齋藤 真範